

がっこうぐらし！ 園
芸部が行く Ver. 3.10.2

ねこんにやく

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

何番煎じか分からないがっこうぐらし！実況プレイ（風小説）はくじまくるよ〜！

今回使用するキャラクターは此方のみあかりちゃんです！アカリチャンカワイイヤツター！！

偉大な先駆者、アサルトゲーマー様の作品（<https://syosetu.org/novel/204792/>）

お願いします、通報だけはしないでください、なんでもしますから！（なんでもするとは言っていない）

目次

1.	キャラクターと縛り説明	1
2.	パンデミック発生とその日の夜	4
3.	掃除	10
4.	お着替え	18
5.	職員用緊急避難マニュアル	26
6.	本音	33
7.	お勉強	41

1. キャラクリと縛り説明

今回実況するゲームはこれ、がっこうぐらし！Ver3.10.2だよー。

前回のアツプデートにより、高校脱出後から大学入学前までのストーリーが追加！更には今まで救出できなかったキャラクター達まで助けることができるようになるにもなりました。運営・開発の皆さん、ありがとナス！

さて、前振りはこのいらにして置いて早速キャラクリにイクゾ！

今回使うキャラはこの子、結城あかりちゃん。アカリチャンカワイヤッター！！

この子は初期スキルに不眠症を持ちます。

このスキルは睡眠時間が極端に短い代わりに操作時間が延びます。デバフとして、急な睡魔に襲われ段々と行動が遅くなり、最後には眠りに落ちてしまう。と言う内容があります。操作している時間は大抵昼間なのでまあ問題ないでしょう（34敗）

RTAニキ達には煙たがられがちなキャラですが、今回の実況プレイ（風小説）ではむしろ大当たりです。

そして……あれ？ナニかもう一つスキルがついていますね。これは……うげっ、どうやら私は最悪なスキルの組み合わせを引いてしまったようです。もう一つのスキルは

その名も夢遊病。睡眠時一定の確率で操作なしにキャラクターが動き出します。何だかコンゴの展開に不安な雲が見え隠れしていますが、何とかなるでしょ。(震え声)

次に技能ポイントを振ります。今回は「体力」「筋力」「持久力」に均等にポイントを振り分けます。残ったポイントは適当に「直感」にでも振っておきましょう。あかりちゃんは園芸部で結構力持ち担当としていたため、今回のポイント振りでくるみちゃんとは並ぶゾンビスレイヤーさんになってくれるでしょう。ゾンビ〇ろすべし、慈悲はない。

さて、OPを見ている間に今回の実況プレイについて軽く説明を。OP飛ばせ、セツカチニキは10:59まで飛ばしてどうぞ。

前振りで話したように前回のアップデートにより高校卒業後から大学入学前までのストーリーが追加されました。それによって救出可能キャラが2名ほど追加されました。まず1人目はワンワンワン放送局のお姉さんです。ですが彼女は1週目では助けられません。ラジオを聞いて到着した時にはもう手遅れ、発症してしまっています。ですが2週目以降なら助けることができます。つまりこのプレイは2週目以降ということになります。1週目不正してやっているんじゃないかとうたがり深い兄貴達の為に、

1週目のアーカイブのURLを動画概要欄に載せておきます。暇な時にでも見てくれよナ!

続いての救出可能キャラはスミコさんです。彼女は雨の日以降、巡ヶ丘市のどこかにランダムで配置されます。こればかりは運ゲーです、諦めましょう。(118敗)

今回はこの2人を含め救出可能なキャラクターをなるべく助けるのを縛りとしてプレイしていこうと思います。だから不眠症のスキル持ちのあかりちゃんは大当たりだったんだナ。チャートがカツカツだからね、しようがないね。

それではOPも終わったしプレイ開始と行きたいところですが今回は時間も時間なのでこの辺で。次回から本格的に始まりませう。それではまた次回お会いしましょう、さいなら。

2. パンデミック発生～その日の夜

続き、今回はOPが終わった直後から。

この主人公の初期位置は4つありその中からランダムで選ばれます。今回は……おつ、まあまあな位置ですね。すぐ隣にめぐねえとゆきちゃんがいるということは補習の後でしょう。この位置なら屋上に逃げつつゾンビを狩れて経験値も稼げるのでうまくですね。ちなみに初期位置は、《自宅》《グラウンド》《廊下》《屋上》の4つで一番不味いのが屋上ですね。みんなが避難してくるのを待つだけでゾンビも狩れないので経験値が稼げなくコンゴの進行に影響が出ます。それなら自宅から始めれば逆にゾンビを狩れるから経験値を稼げていいじゃんと思うかもしれませんが、逆に学校までに行くのに時間がかかりすぎてこれまた進行に影響が出ます。一番いい位置はグラウンドですね。ゾンビの数も廊下より多い上、くるみちゃんとOBさんを守りながら屋上に向かう為狩れるゾンビの数も段違いです。

さて、画面に視線を戻しましょう。廊下にはちらほらとゾンビがいますね、それに若干ではありますがMob生存者も。そのうちの一人が『どうせみんな死ななくなるんだ』

と呟いたのでここはお決まりの『なんでそんな事言った！言え！なんでだ！』と返しておきましょう。Mobは呆気にとらわれています。そして先ほどの大声に反応したゾンビが近づいてきて彼を食べ始めてしまいました。Mobはいずれいなくなるとは言えこれはプレミです。はい、先ほどの台詞は私が言いたかっただけです。まあ、すぎた事はしようがないので彼含め私の経験値になってもらいましょう。ちなみにめぐねえもゆきちゃんも目の前で生存者もぐもぐされたので正気度がかなり低下しています。これも致し方ないコラテラルダメージです、気にせず近くの掃除ロツカーから箒を取り出しゾンビを転ばせたり時にはそのままk i i しながら屋上を目指しましょう。道中はカツトよカツト。

はい、屋上につきました。後はくるみちゃんがOBさん抱えて屋上に来るまでめぐねえと一緒にドアを押さえ付けている簡単なお仕事です。

因みにここで一つ豆知識を。ドアを押さえる係をめぐねえとリーさんにすると低確率でドアをゾンビに破られます。また、主人公の筋力が一定値以下でも破られます。しかし、その一定値を越えれば100%破られることはありません。

そんなことを話しているうちにゾンビによるドアパンもなくなり、代わりにくるみちゃんがOBさんを連れて屋上にやって来ました。いったいさつきまでのゾンビはど

こに行ったか、謎です。まあ、システムにああだこうだ言っても意味がないので先に進みましょう。

屋上に2人が入ったのも束の間OBさんが発症し、くるみちゃんに襲いかかります。しかしそこはくるみちゃんです、近くにあったシャベルでOBさんだったモノを葬りました。これによりくるみちゃんが覚醒しいつものゴリラパワー（失礼）を見せてくれることでしょう。因みに、返り血がべつとり顔についていますがアレって大丈夫なんですかね。

時が流れ、みんなで輪になってこれからのことについて話し合っています。あかりちゃんはりーさんと同じく園芸部なので彼女とは面識がありこの中だと一番仲が良いです。りーさんの隣にはあかりちゃんが座っていますが、これかなり距離近くないですかね？肩なんてもうくつついて見えるように見えますし。それにしてもコントローラーの反応が悪いですね……。この間買い換えたばかりなんです。……。あつ、これコントローラーじゃなくてあかりちゃんの不眠症のデバフ発動してますねこれ。

「あかり、うとうとしてるけれど大丈夫……。じゃなさそうね」

同じ部活であかりちゃんの病気についても理解しているりーさんが顔を覗かせながら聞いて来ました。天使や……。ママア。

あかりちゃん、有無を言わずにりーさんの膝に頭を乗せました。そしてりーさんは妹の頭を撫でるように優しくあかりちゃんの頭を撫で始めました。まあ、くつついていればそれだけでお互いの正気度も少しずつ回復するのでこれはチャートにはないですがよしとしましょう。

というか、私もりーさんのお膝の上で眠りたい。(皆んなも)眠りたくない？

それではあかりちゃんが眠ったところで今回の実況はここまで。ご視聴ありがとうございます。ございました。



丈槍さんと結城さんの補習が終わり3人で廊下に出て少し経った頃それは起こった。悲鳴が聞こえ、窓からグラウンドを見ると「人が人を食べている」光景だった。私は目が離せなかった。あり得ない、こんな人が人を食べるだなんてまるで映画の中のような……。

2人の方へ顔を向けると結城さんは苦虫を噛み潰したような表情になっており、丈槍さんに至っては泣きそうな顔になっている。そんな中、廊下にもちらほらと奴らが現れ始めた。まだ生きていた生徒たちはパニックになり、そしてどんどん奴らによって殺さ

れていく。

「どうせみんな死ぬんだ」

ある男子生徒がそう呟くと結城さんは

「なんでそんな事言った！言え！言え！なんでだ！」

と大声でしかしその声色は悲しみに満ちていた。

その男子生徒は急にそんなこと言われるとは思っていなかったのだろう、口を大きく開けポカーンとしていた。それが彼の油断につながったのだろう。彼は後ろから来ていた奴らに気づかず私たちの目の前で食べられてしまった。私にしがみついていた丈槍さんはいかに泣いてしまい、私は胸の奥からこみ上げてくる酸っぱいモノを抑えるのに精一杯だった。

「ゆきちちゃん！めぐねえ！こっち！」

私と丈槍さんはただ彼女についていくことしかできなかった。結城さんは掃除用ロッカーから取ったであろう箒の柄の部分で奴らを転ばせたり、時にはフルスイングで頭を吹き飛ばしたりして避難通路を作ってくれた。

そして私達は怪我をすることなく屋上まで避難することができた。逃げたのはいいものの、奴らがドアをバンバンと叩く。このままでは侵入されるのも時間の問題だろう。私と結城さんは近くにあったロッカーをバリケードがわりにドアの前に置き侵入

されないように押さえつける。その時、結城さんの顔を見ながら先ほどまでのことを思い返していた。表情一つ変えず元クラスメイトや後輩を手にかけて来た。一歩間違えばこちらがやられるとは言え、すぐに気持ちを切り替えここまでするなんて常人では考えられない。

いつたい貴女は心に何を抱えているの……？

3. 掃除

続き……をする前に今回は初回に語った情報についてお詫びと訂正があります。まず救出可能キャラが2人に増えたと言いましたが正しくは3人でした。申し訳ありません。救出可能の3人目ですが、がっこうぐらしーアンソロジークミツクに登場する校舎の中から部活動中のくるみちゃんを見ていた後輩ちゃんです。彼女ですがコミック作中では名前が登場せずまた、救出成功兄貴達の報告には一切 スクリーンショット S S 等が載っております私ばかりではありません。もしかしたら調査不足で実際には名前があるのかもしれないが、このプレイではつばきちゃん（仮称）としておきましょう。

そんな彼女ですが、救出難易度はかなり高いです。2日目の朝、つまり屋上にいるみんなが起きるまでがタイムリミットです。配置される場所は完全にランダムで校舎内のどこかにいます。そんな彼女をどう救出するかって？トライアル^マアンドエラ^ラです。

（血涙）

謝罪とつばきちゃんについて説明している間にあかりちゃんの目が覚めました。プレイ再開です。

あかりちゃんが起きると周りの皆さんは寝ています。不眠症のデバフによる睡眠時間は短くて1時間半、最大でも3時間なので現在の時刻は遅くてもちようど日を超えたあたりなのですが……。身につけている腕時計に目をやると今は23時を過ぎたあたり、放課後にパンデミックが発生し、夜早めに眠りに落ちたので約2時間の睡眠時間になりませぬ。

校舎内に戻る前にまず膝枕をしたまま眠っているリーさんをそつと横にしてあげます。その際、主人公が来ているカーデイガンを重ねて即席の枕にしてリーさんの頭の下に引いてあげます。

そうしてから園芸部が使っているロツカーを漁り、中から枝切りハサミを拝借します。園芸部は野菜しか作っていないのに、なんでこんなでつかいハサミがあるんでしょうね？そのハサミをクラフトをしますがあかりちゃんは知力が低い為失敗、ハサミが二つに分離してしましますが、逆にこれが狙いです。槍のようなものというアイテムになりました、しかも2つ。これで勝つる。

最後に屋上に来るまでにレベルが1上がっていたので《持久力》にポイントを振っておきます。睡眠時間が短いあかりちゃんは、睡眠による体力の回復が難しいからね。仕方がないね。

それじゃあ準備も整ったしセーブして夜の校舎内にイクゾー!! (デツデツデデデ

！)

今回の目標はつばきちゃん救出とチョーカーさんこと柚村貴依さんの救出です。それと並行して3階けいけんちかせぎのお掃除です。

チョーカーさんは高確率で3階の女子トイレにいますのですが、つばきちゃんは完全ラダムな為3階を搜索して、いなければリセットという手法を取ろうと思います。それではお掃除けいけんちかせぎ中は倍速で。

その間に2人の救出方法を解説したいと思います。まず、チョーカーさんですが彼女は警戒心が強い為なかなか外に出て来てはくれません。なので屋上に生き残りがいると希望を持たせ少し扉を開けたところを無理やり捕獲し屋上に連行します。扉を空けてもらえなかった場合は上から侵入して捕獲します。強行突破じゃオラー！つばきちゃんの場合ですが、こちらは出会った瞬間からオリジナルのチャートに入ります。仕方ないね、今まで出会った時にはもう手遅れだったから。

そんな話をしているうちに廊下にいたゾンビ達はきれいさっぱり掃除し終わりました。しかし、救出時にガバを起こして教室に逃げ込まれゾンビに殺されるなんていうことが起きないように教室内のゾンビも綺麗さっぱり掃除しちゃいましょうねー。ゾン

れて行つてください』と言つて来た為OKする。

“このキャラクターに名前をつけてください”

そんなシステムメッセージが浮かび上がる。……は？つまりこの子には最初から名前がなかったと？仕方ないから分かりやすいように今ままでと同じく『つばき』と名付けた。

そんなこんなで遭遇しにくいつばきちやんに先に会つてしまった。さて、後はチョーカーさんだけなんだが……そんなことを考えているともう一つの個室のとびらも開いてチョーカーさんが自ら出て来てくれた。あかりちゃん以外の生存者が身近にいたことが出てくるきつかけになったのか、彼女は出てくるやいなや『あたしも連れて行つてよ、屋上。安全なんでしょ？』と聞いて来たのでこちらにもOKしておく。

しかしギリギリの戦いだった。時間もそうだが、体力が残り少ない。早く屋上に戻つて休まなくては。戻るシーンはカット！

いやあ、まさか1回目の挑戦で2人とも救出できるとは思つてもいなかったよ。それで今何をしているかつて？リーさんから説教を受けています、ハイ。屋上に戻るやいなや鬼のような形相をしたりーさんがこちらに詰め寄つて来てそのまま正座させられ今

に至ります。

……それでは時間も時間なので今回のプレイはここまで！今回はりーさんに説教を受けるあかりちゃんをバツクに終わろうと思います。それではまた次回の動画でお会いしましょう、さようなら〜！……つてあああ!?なんでりーさんにハグされてるの？えっ、なんで、なんで……？



私はある先輩のことを眺めていた。彼女は陸上部で走っている姿がとてもカッコいい。先輩が部活のある日は先輩を眺め、先輩の部活がない日にはそのまま家に帰る。それが私の日常だった。しかしその日常はいとも簡単に崩れ去った。

今日は先輩が部活の日なので私も残って陰ながら応援する。実際に近くまで行って応援すればいいじゃないと言われるかもしれないがそれはとても恥ずかしい為無理だ。なので今日も廊下の窓から先輩を応援する、そんなことを考えながら窓からグラウンドを覗くとそこにはおぞましい光景が繰り広げられていた。ヒトが人を喰っている。まるでゾンビ映画のような光景がそこにはあった。しばらく思考がフリーズする。それ

もそうだろう、目の前でフィクションのようなことが起きているのだから。

……下の皆から聞こえる窓ガラスが割れる音で私は意識を現実に向けた。きっと奴らが侵入して来たに違いない。私は近くのトイレに逃げ込んだ。

あれからどれくらい時間が経ったのだろう。周りはすでに暗くもう生徒達の悲鳴は聞こえない。怖い……死にたくない……先輩助けて……。そんなことを考えているとトイレの扉が開く音が聞こえた。

「あー、えつと……誰かいますかー？助けに来ました、屋上は安全で生存者もいます」

生きてる女の人の声。でも本当に生き残りなんているのだろうか？もしかして怖すぎて聞こえて来た私の幻聴？しばらくするとまたトイレの扉が開く音が聞こえた。ここを逃したらもう2度と生きている人に出会えないかもしれない、そんな予感がして私は意を決して鍵を開け個室から出た。

するとそこには血塗れな制服を着た女性が立っていた。はっきり言って怖い、けど私は彼女に質問をした。

「あの……屋上は安全で生存者がいるって本当ですか？」

「うん、本当だよ」

彼女は優しい声色でそう答えた。信じてみよう、私はそう思い彼女についていくこと

を伝えた。

しかし彼女は動こうとはしなかった。足元をよく見てみると小刻みに震えているように見えるし、また手元では何かを操作しているようにも見える。そんな彼女を待っていると後ろからガチャと鍵の開く音が聞こえて来た。後ろを振り返ればそこからは首にチョーカーをつけた人が出て来た。

「あたしも連れて行ってよ、屋上。安全なんですよ？」

ぶっきらぼうに言うチョーカーの人に対して彼女は

「OK！」

そう答えた目の前の彼女の笑顔はカツコ良く心がキュンとした。

……さっきの私のトキメキを返して欲しい。私達を助けてくれた人は進むたびに足をプルプルと振るわせている。全然前に進まないで仕方なく肩を貸し私達3人は屋上へ向かった。

屋上に到達するや否や1人の女子生徒に怒られ始めた彼女。しかし、彼女の顔は怒られているにもかかわらずカツコよく見えた。

4. お着替え

続き、今回はリーさんからの説教を受け終わったところから。説教が終わった辺りでみんながポツポツと起き始めました。

全員が起きたところで朝食タイムです。しかし、教師であるめぐねえが一番最後に起きるって大丈夫なの？まあいいか。

それにしても何故かあかりちゃんの正気度がどんどん減っていつてます。なんで？……ああ、そっか、今あかりちゃんの制服血塗れでしたね。これじゃあ正気度下がるのもしようがないね。なので服装を代えます。しかし代えの制服は2Fの購買においてある為今は服装を代えられません。え、じゃあどうやって服装を代えるかって？めぐねえから借ります。オラ！服よこせ！

「制服？貴女たちの制服は購買に置いてあるけれど……」

だから2Fはゾンビがいるって言っているダルルルオ！（巻き舌）お前の服めぐねえが欲しいんだよ！

「そ、そうよね……」

うーん、ちょっと強く言い過ぎたかな？めぐねえは思い詰めたように黙り込んでし

まった。……ってなんで服を脱ごうとしているの？めぐねえそんな趣味あったの？

「……え、だつて今私の服を貸して欲しいって」

いや、そうは言っただけでもさ……こっちは職員更衣室にもう1着あるのはわかってい
るんだぞ？それを聞いためぐねえの顔が赤くなった。カワイイ。

と言うことで、めぐねえを引き連れ職員更衣室にイクゾー！……え？わかるなら1人
で行けつて？勝手に持つて来たらめぐねえに怪しまれるだろオ！どうやらりーさんも
ついてくるようです。めぐねえとあかりちゃんが話している間もりーさんはあかり
ちゃんとかつつついていました。百合の波動を感じる、ああ〜百合の音〜。気を取り
直して3人でイクゾー！

はい、やって来ました職員更衣室。因みに何故かVerアップによってMAPがアニ
メ版のものから原作版に移行されました。なので職員更衣室も3Fにあります。それ
はさておきめぐねえのロッカーから服を取り出して借ります。どうやらぴつたりのよ
うです。

おっと、ここで何故かあかりちゃんが袖口をくくんくんしています。

「ゆ、結城さん!?!いい匂いって、恥ずかしいからやめて〜!」

屋上に戻って来ました。帰ってくる途中、リーさんが何故かジト目でこちらを見ていたような気もしますが、気にしない気にしない。さて、今度こそみんなで朝食タイムです。今ここに調理器具はないので屋上で育てている野菜をそのままいただきます。調理したほうが正気度の回復量は多いのですが、今は調理器具がないから仕方がないね。さて、朝食を食べている間に2日目の流れを説明します。昼間はみんなでもバリケードを作ります、以上です。本来であれば筋力バカのあかりちゃんも協力すべきなのですが、チョーカーさんとはばきちゃん救出の際に体力をほぼ使ってしまった為、あかりちゃんはみんなの周りをよろちよろする係となります。決してサボっているわけではありません。体力回復に努めているだけです。

それではみんなも朝食を食べ終えたので行動開始だー……って、なんであかりちゃんはりーさんの膝の上に頭を乗せて寝ようとしているのです？そしてりーさんは頭を撫でてこちらを寝かしにかかろうとしないでください！あかり様！困ります!!あーっ!!!

ハイ、操作可能になった頃にはもうすでにバリケードが完成していました。予定ではよろちよろしている時にみんなに話しかけて正気度の回復を狙っていたのですが……まあ、すぎたことはしょうがない。予定より多く回復できたと前向きに捉えましょう。

それより珍しいですね、あかりちゃんがこんなに長く眠るとは。あかりちゃんは長くても3時間しか眠らない子なのですが、起きてみればもう夕方です。うーん、朝から寝てこの時間に起きれば体力は全回はずなんですけど、何故か全回じゃないですね、バグでしょうか？

切りは悪いですが今回はここまで。夜の方が長いからね、しようがないね。それでは皆さん次回またお会いしましょう。ご視聴ありがとうございました。



どうやら、あかりを膝枕したまま私もそのまま眠りに落ちたようだ。空もだいぶ明るくなっている。私は「体を起こし」……ん？何故体を起こす必要があるの？あかりを膝枕したまま眠っているのであれば私は「座ったまま眠っている」はず。よくみると私の頭の下に畳まれたカーディガンが置いてあった。これはあかりの……そう思い辺りを見渡すが、あかりの姿はどこにもない。もしかして校舎の中に……？そう考えた私は急いであかりを探しに校舎へ入ろうとした。扉を開けようとしたその時、扉が勝手に開いた。そこからは血塗れの服を着たあかりと女子生徒が2人いた。

「ただいま」

私はその言葉に安心したのか泣きそうになるもその気持ちをごくと堪えた。

「あかり」

「な、何……?」

「そこに正座」

「どうして?」

「せ・い・ぎ」

「ハ、ハイ」

私はあかりをその場に正座させ説教をした。そうして最後には抱き締めながらごく心配したことを伝えた。

そうしているうちに段々とみんなが起き始め最後にめぐねえが起きて全員が起床した。それにしても先生が最後に起きて普段は大丈夫なのかしら。そんなことを考えているとあかりが『朝ごはんにしよう』と言うので園芸部で育てていて生でも食べられる野菜を取って来る。しかし、一向に食べ始めない。無理もないだろう、昨日あんなことがあったのだ。隣にいるあかりの顔を見ている。なんだか物凄く不機嫌そうな顔をしている。

「めぐねえ、服貸して」

「制服？貴女たちの制服は購買に置いてあるけれど……」

きつと、あかりの表情が不機嫌だったのは制服が血塗れ（説教の時に全部返り血だと聞いた）だからだろう。

そんなあかりのお願いに対してめぐねえは替えの制服は購買にあると答えた。きつとめぐねえは代わりの制服をかって、そう捉えたのだろう。私もそう思った。

「でも2階には奴らがいるし……だからめぐねえを貸して？」

「そ、そうよね……」

めぐねえは黙り込んでしまった。そうしてしばらくした後めぐねえは決心を決めたように『よしっ！』と小声で呟いた後に自分の着ている服を脱ごうとし始めた。

「めぐねえ、なんで服を脱ごうとしているの？」

「……え、だって今私の服を貸して欲しいって」

あかりは小さくため息を吐くとさっきの言葉の意味を説明し始めた。あかりが貸して欲しかったのはめぐねえが今着ている服じゃなく、教員用の更衣室にある服だと。

めぐねえは俯いたまま顔を真っ赤にしてプルプルと震えていた。

盛大な勘違いをしためぐねえとあかりは服を取りに行くために屋上の扉へと向かった。

なんだか、今あかりと離れるのは嫌だった。なので私は2人についていく旨を伝え

人で服を取りに行った。

あかりがめぐねえの服の匂いをいい匂いと言いいめぐねえがまた赤くなると言うハプニング(?)はあったもののそれ以外は何事もなく屋上に戻って来られた。

その後みんなで食事を摂り暫くすると、あかりが急に膝に頭を乗せて来たので私は優しく頭を撫でてやる。しばらくすると彼女の寝息が聞こえて来たためそつとしておくことにした。

あかりが寝てから2時間ほど過ぎただろうか。みんなは話し合いで奴らが上に登って来れないようにすると決め、作業を始めるために校舎へと行ってしまった。私はあかりを寝かせておいて欲しいとそのまま屋上にいる。優しくあかりの頭を撫でる。そうすると彼女は音もなく起き上がり、ふらふらと校舎の中へ入って行ってしまった。いっもなら起きてすぐにお礼を言ってくる彼女がお礼も言わずに行ってしまった。

何かがおかしい、そう思い私はあかりを追いかけた。

あかりはフラフラとした足取りながらも進み続けている。まるで何かを探するように。途中くるみや柚村さんに呼び止められ会話をしたと思っただけ急にバリケード作りを手

伝つたりしている。やはり様子がおかしい。そんな彼女を見ているとこちらに気がついたのでかテトテトと近寄つて来て手を掴まれ屋上まで連れて来られてしまう。屋上に着いたと思えば急に座らされ膝の上に頭を乗せ再び眠り始めてしまった。

私は彼女の頭を撫でつつ先ほどの行動を思い返す。長く続かない集中力に謎の行動など、どれも彼女には考えられないことだ。

「一体貴女は誰なの？」

私の眩きは蒼穹へと消えて行つた。

5. 職員用緊急避難マニュアル

続き、今回はみんなが寝静まった夜から。今回は夕方あたりに終わったのになんでもう夜なのかって？それはですね、何もなかったのでバツサリカットしました。全部動画で使ったら長くなってだれちやうからね、しようがないね。

あかりちゃんが目を覚ましたのでプレイ再開です。……ってアレ？なんで目の前にリーさんの顔が？しかも、あかりちゃんを抱き枕にしながら寝てるし……。うーん、これは抜け出すのに一苦労しそうです。それではリーさんを起こさないように抜け出しましょう。もちろん、倍速で。

それでは倍速をしている間に今回の目標を説明します。今回は職員室にある職員用緊急避難マニュアルの処分と2Fの購買に行き制服をGETすることです。職員用緊急避難マニュアルですが、3日目までに処分しないとめぐねえがそれを読んで大変なことになります。具体的にどうなるかは他の方が動画を上げていますのでそちらをチェックしてみてください。制服の方は最悪GETできなくてもいいのですが、いつまでもめぐねえから服借りてたら悪いからね。

説明が終わったところでようやく抜け出せたようです。タイムリミットはリーさん

が起きる前までなのでおおよそ4時間くらいと言ったところでしようか。それでは職員用緊急避難マニュアルを処分しに職員室にイクゾー!

それにしても初回で基本昼間に行動するって言ったのにいぎプレイしてみれば完全に夜型になってるし……もう訳分かんねえなコレ。

はい、職員室に着きました。確かこつちのロッカーに入っているはずですが……全然見つかりませんね。つと、ありましたありました。探している時ほど見つからない、視聴者兄貴達もそんな経験ない?

それでは処分………する前に読んでおきます。コレをを読まないと地下へ入ることができません。……うへえ、読み進めれば進めるほど、どんどん正気度が下がっていきます。コレも致し方のない所謂コラテラルダメージというやつですね。読み終えた職員用緊急避難マニュアルは早急に処分しましょう。処分と言ってもめぐねえがコレを読まないようにすればいいのでどこかに隠しましょう。さて、どこに隠そうか、見つからないところ……うーん……ええい、ままよ!(マニュアルをロッカーの方へ投げ音)
よし、うまくロッカーと壁の間に入りました。コレでもうだれも見ることはいけません。よしよし。

それでは職員室での用も済んだので、次へイクゾー!

次は2Fの購買へ制服を取りに行きます。ゾンビは武器もないし返り血でめぐるねえの服を汚したくないので隠密に逝きましようね。

……つて、うオツ眩しっ。どうやらめぐるねえと交代で見回りをしていたくるみちゃんに見つかってしまったようです。眩しいから、そのライトをこっちに向けるのヤメ口オオオ！

「あかりか、そんなところで何してるんだ？」

メツつちや怪しまれてますね。無理もないですね、前々回に1人で校舎に戻ったりと前科ありますし。ここは信じてもらえなさそうですが、『トイレで目が覚めちゃって、トイレに行っていた』と嘘をついておきましょう。

「そっか、でなんで2階に降りようとしてるんだ？」

あつ、あつ、あつコレあかんやつや。見つけた時点で確実に連れ戻されますが、その場所によっては次の日の行動に影響が及びます。具体的に言うと、勝手な行動をしないように監視体制が敷かれます。バリケード、つまり2Fへの階段に近ければ近いほど監視される確率が上がります。それではあかりちゃんはどうでしょう？バリケードの真前です。

はあ……クソがつ！プレイガバツた!!（台パン）あつ、今のところ音量注意です。

それではプレイがガバったところで今回はここまで。ご視聴ありがとうございました。



「めぐねえ、見回り行ってくるよ」

「めぐねえじゃなくて、佐倉先生でしょ？……気を付けるのよ？」

「わかってるって！」

奴らが現れて2日目の夜になった。3階は安全……だけどいつ奴らがバリケードを越えて来るかわからない。だからめぐねえと交代で見回りをしている。あたしはコレ……先輩を殺したシヤベルを持って教室を出た。

「こつちは……大丈夫そうだな。後は反対側か……」

あたしは見回りをしながらアイツのことを思い出す。この皆を安全にしてくれた結城あかりを。

あたしとあかりは屋上に避難した時が初対面だった。最初の印象としてはどこにもいる普通の女の子だった。しかしその印象もすぐに崩れ去った。

次の日の朝、起きてみるとそこにはりーさんに叱られる血塗れの制服を着たあかりの

姿があった。後ろに2人、昨夜までいなかった女子生徒がいる事からおそらく、夜中に1人で校舎に戻ったんだろう。アイツは一体何を考えているんだ、1人で奴らがいる校舎に戻るなんて。聞き耳を立てると『大丈夫、大丈夫。奴ら足遅いし』などと反論してみたり、りーさんに血塗れの制服を指摘されると『これ？全部奴らの返り血だよ』と表情ひとつ変えずに言った。この時点でアイツに対する印象は、他人とはズレている”
となつた。

朝食を食べた（昨日の出来事であまり喉を通らない）後にみんなでこれからどうするか話し合った。話し合いの結果、奴らが登つてこないように階段にバリケードを設置することとなつた。因みに話し合いのなかであかりが『3階の奴らはたかえちゃんつばきちゃんを助けるときに全部始末しておいたよ』と言い放つた。やはりあかりはどこかズレている。

作業を開始しようとした時、あかりはりーさんの膝に頭を乗せて寝始めてしまった。……なんて言うか身勝手なヤツだ。

あたしが机を運んでいるとあかりがこちらにやって来た。やっと起きたのかと思いつつ、あたしは手伝ってもらおうと思ひあかりに声をかけた。

「あかり、机運ぶの手伝ってくれ」

「……えつと、あの……」

様子が変だ、朝の時の感じとは全く違う。後ろの方からはりーさんが心配そうにこつちを見ている。

「ん？どうしたんだ？」

「……あかりちゃんを見ませんでしたか？」

……は？今、なんて言った？

「いや、あかりはお前の名前だろ？」

「……」

俯いて泣きそうになるあかり。なんだかこつちが悪者みたいな感じだ。

「わかったよ、あかりを見つけたら真っ先に教えるよ」

取り敢えず今のあかり(?)に話を合わせておく。

「ありがとう、お姉さん！」

そう言うにあかり(?)はテトテトとりーさんの方へ歩いていくと彼女の手を引いて屋上の方へと行ってしまった。

夕食時には元の様子に戻っていた。いったい昼間のはなんだったんだ？

そんな、昨日からの出来事を思い返しながら見回りをしていると、バリケードの目の前にあかりがいた。

「あかりか、そんなところで何してるんだ？」

「えっと、トイレに目が覚めちゃって、トイレに行ってた」

トイレに行ったとして、何故下の階に降りようとしているんだ。1人で校舎に戻ったと言う事もあるし、あたしは疑問に思ったことを素直に彼女に質問した。

「そっか、でなんで2階に降りようとしているんだ？」

思いつきり動揺している。目がすごく動いているし。

取り敢えず、そんなあかりを連れてあたしはめぐねえのいる部屋に向かった。

昼間のこともあったし、やっぱりあかりはどこか変だ。何かを隠していると言うか、そんな感じがする。それがあかりの事を他人とはズレていると思わしているものなのかもしれない。

あたしは彼女のことをちゃんと理解できる日が来るのかな。

6. 本音

続き、今回はくるみちゃんに見つかつたところから。

どうやらくるみちゃんに連行されて何処かに向かつています。おそらく、めぐねえの居る部屋でしょう。気分はさることながら、出荷されている仔牛のようです。ドナドナドーナ……。

「めぐねえ、ただいまー」

「もう、めぐねえじゃなくて佐倉先生でしょ……つて、あら？なんで結城さんが恵飛須沢さんの後ろに？」

「そうだ、めぐn……じゃなくて佐倉先生、こいつ一人で下の階に行こうとしてたんだ」
うっ、めぐねえのあかりちゃんを見る目が痛い。

「結城さん、恵飛須沢さんの言つていたことは本当ですか？」

「ここは下手に嘘を付かずに肯定の意味を込めて首を縦に振ります。」

「なんでそんな危険なことを……」

めぐねえに服を返したかつたからに決まってるダルオ？それに、購買まで行けば食料も確保できるしね。

「だからってそんな!」

「めぐねえ、ちよつと……」

「え、恵飛須沢さん……?」

何故かくるみちゃんが真剣な面持ちでこちらを振り返りました。

「なあ、あかり。そんなにあたしたちのことが信用できないか?」

いや、そんな事ないよ?

「じゃあなんで1人でそんな危険なことしようとしてんだよ!」

これはあかりちゃんの問題だからね。それに巻き込んで犠牲者が出たら再走案件不可避です。

誰も犠牲にしたくないんだよ!!

「だからって自分はどうなってもいいのか?もつとあたしたちを信じろよ!仲間だろ!」

あ、あ、肩を掴んで揺らさないで、画面が、画面が揺れる

「恵飛須沢さん、その……結城さんが目を回しているわ……」

画面の揺れが収まり、操作が可能となると外はすっかり明るくなっていました。しか

もロープでぐるぐる巻きにされ、身動きが取れなくなると言う状況で。アルエ？確かに、くるみちゃんに見つかった時点で監視というあの行動制限がかかるのはわかっていたんですが、ここまで重くなるということはないはずですよ。どこかで選択ミスったかなあ……。

「……結城さん、目が覚めましたか」

おうおう、それでなんであかりちゃんはロープで繋がれているんですか？

「それは結城さんがみんなに心配をかけるような行動をとるからです」

それじゃあ、このロープはいっつ解いてくれるの？

「反省の色が見えたら解きます」

うー、コンゴの予定が崩れる音オ。どうやら今日1日は確定で身動きがとれなさそうですね。なので、今日1日はおとなしくして明日につなげようと思います。おそらく、この部屋から出ることも叶わないと思うので、今回のところは明日の朝までの映像を倍速で流しつつ、あかりちゃんのステータスについてと今後の予定を説明しようと思います。

1日目の夜につばきちゃんとチョーカーさんを助けるために3Fのゾンビを全てコロコロしたのでレベルが3ほど上がっております。そのポイントを振り忘れていたのを思い出したので振っておきました。内訳は投擲スキルをレベル2まで取り、あとは持

久力に振り分けました。投擲スキルの説明は他の実況者さんが説明しているので省きます。詳しく知りたい方は他の方の動画をご覧ください。そして持久力をあげたことについてですがこちらは、けいちゃん救出イベントの際に持久力が高くないと間に合わないからです。あかりちゃんの初期持久力でも問題ない値ではあったはずなのですが心配なので一応ね。

今後の予定についてですが、まず7日目の雨の日イベントまでにフラグを3つほど立てないといけません。フラグを立てないとどうなるか？めぐねえがゾンビにコロコロされます。ですがまだ3日自由に動ける日があります、きつとなんとかなるはず（震え声）

その後にお手紙イベントを挟み、けいちゃんからの救助要請イベント。近々のイベントはこんな感じですよ。

4日目にロープが外れることを祈って今回はここまで。ご視聴ありがとうございます。



私は悩んでいた、結城さんについてだ。

彼女は2日目、私が始まると制服が血塗れでいた。近くに前日は居なかった女子生徒が2人いることからきつと彼女が助けたのだろう。制服から見るとおそらく奴らを沢山………私はわからなかった。同じ生徒だったモノを自分のためであやめているのに何故平気そうな顔でいられるのか。

それから時間は過ぎ、途中彼女の様子がおかしい時間はあったもののそれ以外のことは特に何もなくて夜になった。

夜、私は恵飛須沢さんと交代で見回りをすることとなった。何度か交代で見回りをした後に恵飛須沢さんの番となった。

30分ほど過ぎただろうか、見回りを終え戻ってきた彼女の後ろには結城さんが居た。

「めぐねえ、ただいまー」

「もう、めぐねえじゃなくて佐倉先生でしょ……つて、あら？なんで結城さんが恵飛須沢さんの後ろに？」

「そうだ、めぐねえ……じゃなくて佐倉先生、こいつ1人で下の階に行こうとしてたんだ」
あかりさんが1人で2階へと降りようとしていた。それを聞いた時、私は何故そのようなことをしようとしたのか理解できなかった。

「結城さん、恵飛須沢さんの言っていたことは本当ですか？」

彼女は無言で首を縦に振った。

「なんでそんな危険なことを……」

「……めぐねえに服を返したかったから。それに、購買までいけば食糧が手に入るでしょ？ 屋上の野菜だけじゃ味気ないから……」

服を返したかったから？ みんなのために食糧を取って来ようとおもったから？ 私はわからなかった。何故危険を冒してまで1人でしようとするのか。

「だからってそんな！」

私は反射的に声を荒げてしまった。

「めぐねえ、ちよつと……」

「え、恵飛須沢さん……？」

恵飛須沢さんが私の言葉を遮り真剣な面持ちで結城さんの目の前に立つ。

「なあ、あかり。そんなにあたしたちのことが信用できないか？」

「そんなことないよ」

「じゃあなんで1人でそんな危険なことしようとしてんだよ！」

「これは私の問題だから……それに巻き込んで誰かが噛まれたら……私は誰も犠牲にしたくないの!!」

「だからって自分はどうなってもいいのか？もつとあたしたちを信じろよ！仲間だろ！」

彼女たちの言い合いは次第にヒートアップしていき、やがて恵飛須沢さんが結城さんの肩を掴んで前後に揺さぶる。すると優希さんは目を回してしまった。私は仲裁に入るためにこういった。

「恵飛須沢さん、その……結城さんが目を回しているわ……」

私は、気絶した結城さんを椅子に座らせロープで動けないように縛った。周りからは……特に若狭さんからは『めぐねえ、それは少しやりすぎじゃない？』と言われたが、しようがない。また彼女が一人で危険を冒すような真似をされるよりかはマシだ。

そして、彼女を見ながら私はこの事件が起こった日から今日までの彼女ことを振り返る。

『どうせみんな死ぬんだ』という男子生徒の呟きに対して彼女は『なんでそんなこと言った！』と泣きそうな表情をしながら言い返したり、危険を冒してまで1人夜の校舎に戻り生存者を助けてきた。今回もそうだ、自分のことは顧みず、周りのためになることをしようと……。

彼女は目の前の命の為なら自らの命を厭わない、それが人一倍強い。何が彼女をそう

させているかは分からない。きっと人には言えないナニかを彼女は抱えているのだらう。

先生に貴女の抱えるもの……それを半分とは言わないけれど、少しでも貴女の負担になつているものを肩代わりすることはできませんか？

それとも先生じや力不足かな……。

とにかく、私は彼女が抱えるもののせいで彼女自身が犠牲にならないように祈ることしかできなかつた。

7. お勉強

続き、今回は6日目の朝から。

……なんで4日目からじやないのかって？昨日（5日目）まで監視体制が強くてロクな行動が取れなかったからだよ！そのせいでこの2日間は特に動画にする部分もないため、カットとなりました。強いて見所をあげるとしたら、リーさんとあかりちゃん之夜寝る時いつも一緒に寝ていたことぐらい……？気になるアニキ達は概要欄に編集していない4・5日をうpしておくのでそちらを見てみてよな。

それにしても、本来なら明日の雨のデイイベントに必要なフラグをこの2日間で立てておく予定でしたが、2Fの探索に同行させてもらえなかったのでフラグを立てることができませんでした。これはまずいです、どれくらいまずいかと言うとめぐねえに職員用緊急避難マニュアルがバレる次くらいにまずいです。何故かって？めぐねえがコロコロされる確率が跳ね上がるからです。

フラグさえ立てておけば9割の確率でめぐねえを助けることが出来ませんが、そうでない場合3割の確率まで落ち込みます。

まあ、こうなってしまうては仕方がないので今日はみんなの信頼度稼ぎに重きを置き

ましよう。監視体制が続いたのもあかりちゃんへの信頼度が低かったのが原因なので今日のうちに稼げるだけ稼いでおきます。

そしてできれば夜に抜け出してお手紙イベント用の風船を購入へ取りに、厨房に終盤までお世話になる武器を入手しに行動したいと思います。ああ、また怒られるんだろうな（ゲンナリ）

説明しているうちにイベントが始まりました。これはめぐねえの授業ですね。ゆきちゃん、チョーカーさん、あかりちゃんの3人がうけるみたいのようです。残りの3名は屋上菜園での作業でしょうか、ご苦労様です。

「それじゃあこの漢字、分かる方」

「はい！は〜い！五月雨！ごがつあめ」

ゆきちゃんが盛大に間違えていますね、正解は五月雨さみだれです。が、あかりちゃんの知能もさあ〜こななのでここは大人しく隣のチョーカーさんに聞きましょう。

チョーカーさん、チョーカーさん。

「……なんだよ」

あれなんて読むの？

「五月雨さみだれだけど〜？」

あれがとー。チョーカーさんちよろいぜ。めぐねえ、めぐねえ！

「めぐねえじゃなくて佐倉先生、でしょ？それで結城さん、答えはわかりましたか？」

五月雨さみだれつて読みます。これでチョーカーさんとの会話も少しできたし、少しは仲良くなれるといいですね。

「……あかりつて頭の中まで筋肉なんだな」

何だかあらぬ誤解を受けているような……初日の印象が強すぎた……？

しかも哀れみの目でこちらをみているんですけど。あかりちゃんさみだれは脳筋なんかじゃないよね……よね？

ワイワイがやがやとめぐねえの授業も進んでいき、終盤になるにつれてチョーカーさんとも仲良くなれた……気がした。

短いですが今回はここまで。今回は少なかったたので、ぜひ4・5日のりーあか（りーさん×あかりの略）てえてえを見ていつてくれよな。一番尊みが深いのはやつぱり一緒のお布団で寝ているところかな。思い返すだけであつ、あつ、あつ……（限界化）

それじゃあ次回の動画でお会いしましょう。ご視聴ありがとうございました。



「たかえちちゃん、たかえちちゃん」

隣の席に座っているあかりが私に小声で話しかけてきた。今は佐倉先生の授業をゆきとあかりとそして私の3人が受けていた。

本当は全員で受けた方がいいのかもしれないけど、色々と作業もあるため話し合いの結果、最初にこの3人が受けることとなった。

「……なんだよ」

私はゆきの回答に心の中でツツコミを入れつつあかりの声に耳を傾けた。……いや、ごがっあめ五月雨はないだらゆき……。

「あれってなんて読むの？」

「五月雨さみだれだけど？」

「……。私をあかりの方を見ていた、きつとなんとも言えない表情をしていただろう。」

「ありがとー。めぐねえ、めぐねえ！」

「めぐねえじゃなくて佐倉先生、でしょ？それで、結城さん、答えは分かりましたか？」

「五月雨さみだれって読みまーす」

「こつちを向いてニツと笑顔を見せてくるあかり。その表情からは一人で危険な行動

をとるような人だなんて誰が思うだろうか。

そう言えばゆきがよく一緒に補修を受ける子について話していたことを思い出す。確か園芸部で同じ3年であれば……力持ち。すごく力持ちと。そればかり言っていた気がする。その子があかりなのかな。かわいそうに、きつと脳まで筋肉に支配されて……。

……どうやら当たっているらしい。あかりは佐倉先生に色々と言われている。どうやらさつき答えて聞いたのがバレていたみたいだった。

「……あかりって頭の中まで筋肉なんだな」

私はそう彼女に言った。彼女は頭の上にハテナマークをたくさん並べているようだった。

それにしてもあかりはたまに様子がおかしくなる時がある。なんて言うか、子供っぽくなると言うか……。

もしかしたらそれが彼女を一人危険な行動をさせることと何か関係があるのかもしれないと私は考えた。

「私じゃ力になれないのかな……」

彼女に助けられた身としてできることなら彼女を支えたい、私はそう思った。